

## 【明日、56人の6年生が卒業します】

明日、3月23日に平成23年度長尾小学校卒業式を举行します。

6年間の小学校の教育内容を学んだ56名の児童が本校を巣立ちます。

明日の卒業式をむかえるにあたり、今日まで卒業生と在校生が練習を積み重ねてきました。毎回の練習に臨む子供たちの表情は真剣です。

卒業生にとっては、この式が長尾小学校での最後の行事です。

在校生にとっても、今までいろいろな行事と一緒に取り組んできた卒業生との最後の行事です。

それぞれの思いは、卒業式の後半の呼びかけで伝え合います。

式場は、素早い動きで、卒業生が在校生側に向き直り、対面します。

在校生の3年生から呼びかけが始まり、4年生、5年生へ。それぞれの思いを卒業生に伝えます。そして、「また会う日まで さようなら」という歌を贈ります。

卒業生は、今までの思い出を振り返るとともに在校生に長尾小学校の脈々と続く歴史のバトンを託します。そして、在校生に「巣立ちの歌」という歌を返します。

最後に、卒業生と在校生が「さようなら」を歌います。

歌終了後の「さようなら」という大きな声が式場に響き、その後の静寂に包まれます。



【卒業式練習 在校生の歌を  
聴く卒業生】

卒業生56名のこれからの未来に幸多きことを願っています。

また、在校生が、卒業生からしっかりと長尾小学校のバトンを引継いでくれることと思います。

## <呼名について>

今年度の卒業式を举行するにあたり、事前の会議でいろいろなことを確認したり、役割を決定したりするために話し合います。その中で、卒業生の呼名（担任が児童の名前をよぶこと）について検討しました。

昨年まで、長尾小学校は、「〇〇君」「〇〇さん」と敬称を付けて呼名をしていました。

各小学校でも、敬称付ける学校と付けない学校は様々ですが、それぞれに考え方があります。

敬称を付ける学校は、児童の人格を重視するという考えがあります。

また、敬称を付けない学校は、同じ組織の人を他の人に紹介する際には敬称を付けないことや親が自分の子供を他に紹介する際にも付けないことなどの理由が考えられます。

そのようなことを検討する中で、今年度の長尾小学校の卒業式では、来賓をお迎えして挙げる卒業式であるので呼名に敬称をつけないこととしました。

そこには、同じ長尾小学校で6年間を過ごした卒業生一人一人が仲間であり、家族であるという思いがあります。

2名の担任が一人一人の呼名をする際に、今まで過ごした多くの思いが子供たちに、そして、担任によみがえってくるのだと思います。

## 【さよなら集会 3月2日】

3月2日に、さよなら集会を行いました。

1年生から5年生までの在校生は、6年生への感謝の気持ちを伝えるため、練習してきた成果を発表しました。

6年生は、最上級生としてのまとまりのよさを発表で見せてくれました。

各学年の発表の一場面を紹介します。



【1年 げんきマル・モリ】



【2年 モルモとモルが  
やってきた】



【3年 米EXILE】



【4年 4年生からの  
応援メッセージ】



【5年 走れメロス】



【6年 昭和からの  
メッセージ】



【トーンチャイムクラブ】

長尾小学校の全校児童で取り組む最後の行事「さよなら集会」は、とても楽しく和やかに行われました。

卒業生、在校生にとって、長尾小学校での大切な思い出になったことと思います。

## 【平成23年度 大変お世話になりました】

保護者の皆様、地域の方々には、平成23年度大変お世話になりました。校長不在で始まった今年度も、皆様の常日頃のご理解と温かい支援により無事ゴールをむかえようとしています。

平成24年度も引き続きご理解とご支援をお願いいたします。